

「新山梨環状道路工事現場見学の感想①」

今日は新山梨環状道路工事現場に見学にい  
きました。現場見学に行って一番驚いたこと  
は、1丁の全面的な活用が多く導入されて  
いることです。あまり土木の仕事では採られ  
ないと思います。たが、多くのところ  
で導入されていて、特に3Dレーザス  
キャナーで完成予想を分析してより正確に、  
完成形を提示する事ができるので、ごい技術  
だと思いました。また、場所打杭という作業  
を始めて知りました。地中奥深くまでハンマ  
ーグラフで掘削して筒の中にコンクリートを  
入れて打込む作業は、とても時間がかかり  
ごく大変な作業という事も知れました。ま  
た、使用する重機の騒音や粉塵を配慮しなが  
ら仕事をしていた。

今回の現場見学では知らなかつた1丁施  
工のことや、土砂積込みについて近くで学  
ぶことができてよかつたです。知ったことを学  
科の勉強で活かしていきたいです。

「新山梨環状道路工事現場見学の感想②」

今回、実際に現場を見てみて、新しい技術の凄さを目で確かめることができました。私が一歩おとろいたのは、GPSシステムを使った、盛土工事です。本来は厚さを人の目で判断しなければならず、時間のかかる作業になるところを、ナビを使って厚さを正確に均等に行きとけるといふところいび、くりしました。以前から土木の技術は日々進歩している、という話はきいていましたが、これほど

とまどいすごい技術があるとは思っていませんでした。しかし、最近では測量なども人が実際に測らずに行う、ということも多々あります。少し悲しくも思いました。きかいが全て行なうてしまおうと人の仕事が少なくなってしまうと思ひからです。しかし、やはり土木の仕事も全てがきかいによつて行なえるわけではないので、技術を利用しつつ仕事をしながらいくことが大切なのだと思います。

「新山梨環状道路工事現場見学の感想③」

道路の工事現場へ入ることは初めてだ、  
 ためとてもわくわくした。道路や橋をつくる  
 ことはとても簡単なことでは無いと聞いたこ  
 とはあったが現場を見て思っていたよりも遙  
 かに大変かが分かった。現場見学の①での工事  
 期間が約二十八ヶ月と聞き驚いた。一か月以  
 内で終わる作業は少なく地道に一つ一つ進め  
 ていくのだと知った。私達が普段歩いてい  
 る道がこんなにもわかほかか、たものだと知りま  
 たら興味があった。  
 CMで聞いていたICTという単語をた  
 ぶん聞くことができた。人の勤ではなく機械  
 を使うことび今まびよりも効率よく作業びま  
 すとゆう。ICTを使うことびさらに今まび  
 にないものもつくれたりするのかととても知  
 りたくなつた。地図に残ることをや、ていて  
 か、こいと思った。私もその一員になれる  
 よう日々の学習をし資格を得りみんなにか  
 こいと思われる人間になりたいと思、た。

「新山梨環状道路工事現場見学の感想④」

今回は、現場見学ということで、新山梨環状道路工事現場に行きました。僕にとっては何れ初めての現場見学だったので、とても貴重な経験になりました。三ヶ所の現場に行きました。見学に行つて、とても頭に残っていることは、どの現場でも、最新の技術が使われていることでした。例えば、盛土工事をしていく所では、作業を早く、正確におこなうために、ICTやGPSなどという言葉がたくさんに出てきました。その他にも、レーザースキナーやドローンもありました。働いている方々が、このような最新の技術があるから、みなさんのような若い人たちに建設業界に入つてほしい」と言っているのを聞いたときに、僕は、このような仕事につきたいと思いました。また、このような大がかりな工事は、一つの会社が負担するのではなく、何れもの会社が協力をして作業していることを初めて知りました。

「新山梨環状道路工事現場見学の感想⑤」

人生で始めて道路の現場見学だった。普段  
見ることもがでさな、よなものを見ることもが  
できることも貴重な体験になった。  
まず一つ目はたくさん機械だ。こんなに  
周りにたくさん機械を見ることもが無く興奮  
した。また機械の値段が想像以上に高級なも  
のでもって驚いた。このような機械を簡単に  
使いなしていった会社の方とか、こよかった。  
二つ目は道路の工事に最新の技術が使われ

ていたことだ。土木の現場で自分が思っ  
ていたのは、力が必要で手作業が多いとい  
う感じ。  
しかし今の技術ではGPSなどを使われてお  
り、今の若者たちで理解できるのではない  
かと思っただ。  
この見学を通して現在の工事の現場の景  
を知ることもができた。新山梨環状道路の  
意味や完成までの日程など、知ることもが  
できる良い  
体験になった。